

サンフランシスコでの悪夢

Nightmare in San Francisco

[Post-Polio Health誌 Vol 23, No 1, 2007冬号 Page 8 和訳：武田美千代]

以下にDiane

Kirlin

MurphyさんがTSA（輸送機関の安全を担当する政府機関）に宛てた手紙とその返信を抜粋しました。手紙の全文はwww.post-polio.orgをご覧ください。或いはPHI(Post-Polio Health International)にお電話ください。

棒 p へ子供の頃ポリオを患いそれ以来KAFO（長下肢装具）を装着し、歩くときは前腕に松葉杖をつけています。旅行するときにはいつも手動式の車椅子を使っています。昨年8月フィラデルフィアからサンフランシスコへ飛行機で移動しました。飛行機に乗る前に車椅子の検査を受け、ボディーパットダウンと呼ばれている身体の上から下まで軽く手でたたきながら不審物を所持していないかどうかを調べる検査を受けました。そして問題なく搭乗できたのです。

サンフランシスコからフィラデルフィアへ戻るときのことです。私の所持品が金属探知機を通されるのを見ながら、私は女性の検査員が来るまで待つように言われたのです。女性検査員が私の身体の上から下まで軽く手でたたきながら全身をチェックしたあと、足と装具の検査を終えない限り飛行機に搭乗することはできない、と言うのです。周囲の人から見えなように、周りをシーツで覆うのでズボンを下ろすように言われました。この時点で私は拒否しました。シーツの後ろで衣服を脱ぐといった不条理さに加えて、実際立ち上がってバランスを保ちながらズボンを下ろすことは私にはできません。私はチェックを終えていなかったためTSA(輸送機関の安全担当機関)は松葉杖もハンドバッグも返してはくれないだろうと思ったのです。さらに検査員は、私が更なる検査を受けないかぎりその日の飛行機に乗ることもできなければ、トイレに行くこともできないというのです。もう何も打つ手はありません。そのころには怒りと悔しさに涙に泣いていました。2人の女性検査員による屈辱的で恥ずべき検査を受けるしかなかったのです。

検査員は隣の女性用トイレで検査を行うことをしぶしぶ認めました。検査後ようやくトイレの使用を許され飛行機に乗ることができたのです。”

返事

“まず心からお詫び申し上げます。サンフランシスコでTSO(輸送機関の安全担当官)管理部と、この件についての調査をした結果、以下のことがわかりました。調査員らはあなたの金属製装具に対して、微量の爆発性物質が見つかったときの対応をしてしまったとのこと。装具をつけている人が金属探知機を通してアラームがなった場合、更なる検査が必要になります。その場合、装具が見えるようにズボンの裾をあげてもらったり、シャツの袖をまくりあげてもらったり、スカートが膝のところまで上げてもらったりお願いすることになります。或いは上から手で触りながら、禁止されているものを隠し持っていないかどうかを調べます。この間、あなたが経験されたような、装具を取り外したり脱衣したりを要求することはありません。厳密な検査手順は個人が立って歩くことができるかどうか、或いは立つことはできるがそれ以上はできないか、それとも立つことさえできないかによってかわってきます。身体を軽く手でたたきながら調べるパットダウン検査においては、人目につかないところで検査を行うこともできる旨を申し出るよう、TSO(輸送機関の安全担当官)らは指示を受けています。必要ならば、検査で問題がないことがわかった仲間やアシスタント（介助者）が、本人の検査に同伴することも可能です。

探知機を通過できる歩行器、松葉杖やステッキを使っている場合はX線による検査が必要になります。ステッキが歩行補助のために使われるということが明確になれば、本人の検査中ステッキの使用は認められるはずです（Murphyさんの手紙では松葉杖のことが書かれていましたが）。ただしハンドバッグが手元にもどるのは本人が検査を問題なく終えてからのことです。

トイレの使用に関してですが、一度検査が始まるとそれが終了するまで途中での退出はできません。

Diane Kirilin Murphyさん（Pennsylvania Erdenheim在住）より

“私がこの件をここに記したのは、飛行機を利用する際、検査に時間がかかることに対して不満をのべたかったからではありません。どうしてこうなったのか明確な説明がほしかったからです。”

TSAの障害者プログラム、市民権と自由の問題担当者Sandra Cammaroto氏より

“安全を確保するために各個人、持ち物の検査が必要ですが、最も大事なことは検査のやり方です。”

Translation by
Japanese Network of Polio Survivors
Masakuni Mukoyama, MD
3 Kuromoncho, Higashiku
Nagoya, Japan 461-0035